**令和　　年　　月　　日**

**○部**

**鈴木一郎 殿**

**○部 ○課**

**山田太郎**

**SNS不適切投稿 顛末書**

**１．事案の概要**

**私が令和　年　月　日に、個人のSNSにおいて、会社の規定に反する不適切な投稿を行い、社内外にご迷惑をおかけしました。**

**【投稿内容】**

**例１：社内の会議資料の写真を誤って公開した。**

**例２：勤務中の不満を軽率に投稿し、会社や同僚に対する批判と受け取られる表現が含まれていた。**

**２．発生の経緯**

**当日、私用のスマートフォンでSNSを利用中、軽率な気持ちで上記の内容を投稿してしまいました。公開範囲を限定していると誤認していたこと、また会社規定を十分に理解せず行動したことが原因です。**

**その後、上司からの指摘により不適切投稿が発覚し、直ちに該当投稿を削除しました。**

**３．原因の分析**

**社内規定や情報管理ルールを軽視し、十分な理解と意識が欠けていた。**

**SNS利用に際して、投稿内容が第三者に与える影響を深く考えず、安易に公開した。**

**情報の公開範囲の設定に対する確認不足。**

**４．影響・ご迷惑**

**今回の不適切投稿により、会社の信用を損なう可能性が生じ、また同僚や関係者に不快な思いを与えてしまいました。社外の閲覧者からも誤解を招きかねず、企業イメージに悪影響を及ぼす恐れがありました。**

**５．再発防止策**

**今後は私用SNS利用時も、投稿前に「公開範囲」「内容の適正性」を必ず確認する。**

**社内規定（SNS利用規程・情報管理規程）を再度熟読し、遵守を徹底する。**

**会社に関連する情報、同僚や顧客に関する内容は一切投稿しない。**

**業務中のSNS利用は行わず、私用での利用も節度を持って行う。**

**６．謝罪**

**このたびの私の軽率な行為により、会社および関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。**

**今後は再発防止に全力を尽くし、信頼回復に努めて参ります。**

**以上**